

ア ン ビ バ レ ン ス

聖 人 君 子



朝まで
ゴージャス

仙界

この
妖怪には持ち得ぬ
穢れ無き灵力

さてはおぬしも
我と同じ仙人…

……だな!?

ふむっ

なかなか
やりよる!

古代日本の尸解仙

物部布都

Mnonobe no Futo

— 仙人ン？

天人よ

仙人なんぞと
一緒にされちゃ
たまらないわね

非想非非想天の娘

比那名居 天子

Hinanai Tenshi

天人 >>> [はるか壁] >>> 仙人 >
>> 尸解仙
我ココ!!

ほほう
てんじ…

天人ッッッ?

てんじん…

天人ともあろう御方が
なぜこのような処に

つててて

あら

私が
ご招待したのよ

この声は…

おびっ

…太子様っ!!



ふふ

聖徳道師

豊聡耳 神子

Toyosatonini no Miko

招待…ね

ご丁寧に人質まで
取るような招待を
受けたのは
流石に初めてだわ

人質？



先ほど招かれていた
清楚可憐なご婦人……
確か永江殿とか申されたか

アメモ
どうぞ
かたじけ
ない
茶会をしつつ
一通り欲談したのち
和やかに帰られたが
もしやあれが

——ハッ!?

敵を騙すには
まず味方からという
奴ですな太子様!!

いえ説明が
面倒だったので

なんとオ!!

…はー

ま そんなこつたろう
とは思ってたわよ

まあでも

「そんなのは
どっちでもいいわ」

—でしよう…

…よく
わかってるじゃない

こちとら
未来永劫予約満了で
退屈してるんだから…

喧嘩売るなら
もつとド直球ストレートでも
いいくらい

…でもま
一応聞いておくけど

かの名高き聖徳王・サマが
こんな不良天人に
ケンカを売る理由って何よ？

理由ですか…

そうですね

私^{しえん}怨

といつたところ
でしようか

…あら光榮

突然の
シリアスに
思いついていられる
我!!

聖人様からの
恨みだなんて

世界中探し回ったって
買えないような
最高級の贅沢じゃない

んはっ!!

竜宮の使い
永江 衣玖
Nagae Iku

やはり
ニムナメントに…

永江殿!!

—そういうわけで

全力で叩き潰させて
頂きます

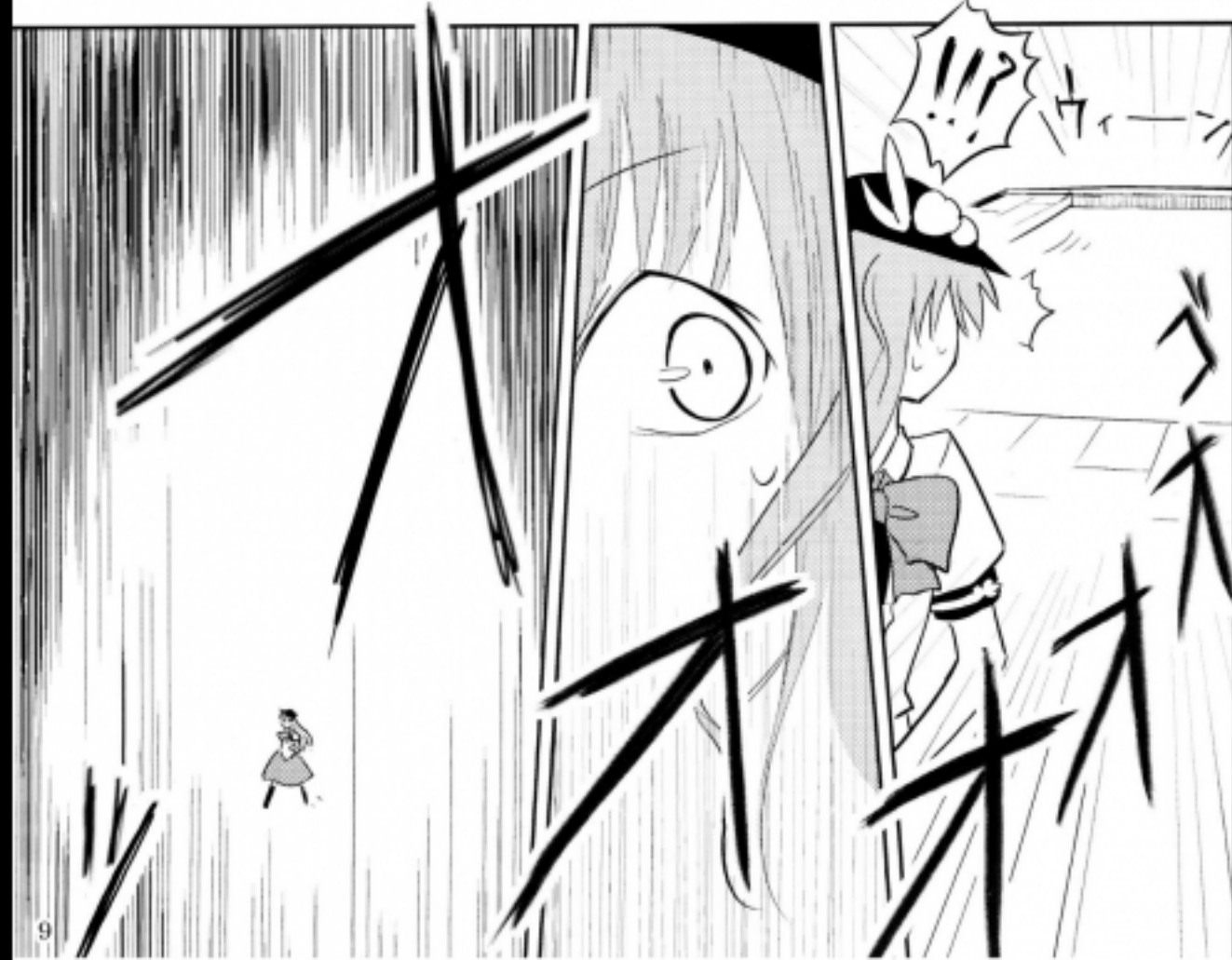
のし付けて
叩ッ返してあげる

天人

比那名居天子
ひななゐてんし

聖人

豊聡耳神子
とよさとみみのみこ





主役は
蘇我 尾白古

……な



何あれ
超力ツコイイ
ではないですか
太子さまー!?

私も
ほしー!!

でしようっ!!

…でもあれ
最初から「完成」
してましたよね?

かませまの
かけま…?

そう…

それは私も
気になったのですが…

しかし青娘々が
これで正しいのだと…

七つの海を

かけま…

うー?

ま
まあよい

ともかくこの
超陰陽からくり
シヨートクオーで

カキ
あむれは

おわりじゃー!!

貴方に引導を
渡して差し上げます!!

あら失礼
…ふふ

むむっ
何がおかしい
天人の!!

別に
おかしくて笑ったん
じゃないわよ?

…あんなに
カッコイイのに!!

ズ…

ただね
あまりにも—

あんまりにも

新スペルの
あいて
練習台に！

おあつらえ向きな
もんだからさ！！







バトルスタート
決闘開始よ!!



博麗神社



地震ん?

あー?

神社に起こる地震って
あの天人の要石で
防がれてるんじゃないのか?

…のはずよねえ



あいつめ
また何かしら
怠慢でも…

その姿勢で言うとな
ひどい説得力だな

うっさい

楽園の巫女

博麗 霊夢

Hakurei Reimu

普通の魔法使い

霧雨 魔理沙

Kirisame Marisa



ってなんか
近付いてるわよ

机の下にでも
隠れるか?

んな悠長な

それも
その姿勢で言う
台詞じゃー



ふふっ…

戦いの規模が
大きくなりすぎて
仙界の許容域を
超えてしまうなんて

やりますね…
比那名居天子!!

アンタもね…
豊聡耳神子!!

仕方ありませんね…

布部！
ゴソクジンで
出撃して援護を！！

えっ
あるんですか
我のモ！？

予算が
足りません
でしたねえ

無茶振りも
いいとこですね！？

そっちが
そう来るなら…
衣玖！
眠れる力を解放して
なんか巨大な龍とかに
変身なさい！！

ねえ……







ちよつと…

頭冷やそつか——？



な…えつ…
でか…亀!?

ぱっ…
反則でしょ
そんなん

玄爺^{げんじい}とかまた
懐かしいもんを…





……

こいつは
やられた

加減というものを
知りませんね
あの巫女……

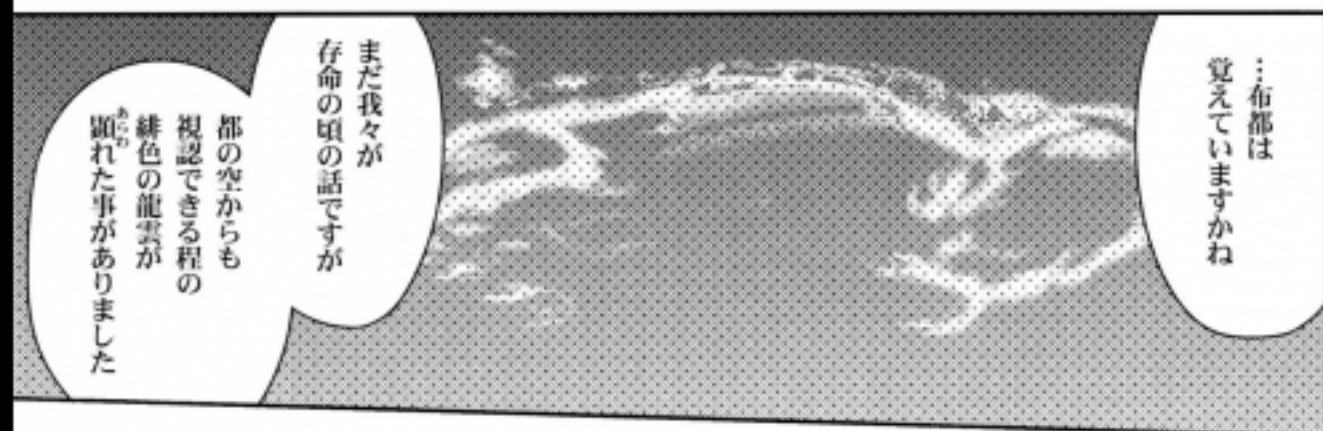
いざいざ



——しかし太子様

結局
あの天人の娘と
戦った理由というのは
何だったのです？

我は結局いまいち
わからなんだ



……布都は
覚えていますかね

まだ我々が
存命の頃の話ですが

都の空からも
視認できる程の
緋色の龍雲が
あつた事がありました



——ええ

あの時は確か

その因果を探るため
都を離れ太子様と共に
小さな旅をいたしました

ここであると
我が当たりを付けた地は
大地の怒りを受けたか
名状しがたき有様で……

廃墟と化した山村に佇む
一人の老婆を見つめ
太子様の命により
保護し連れ帰りました

…その老婆は
水らせることは
ありませんでしたが

死の直前
己が生の全てを私に語り
聞かせて下さいました

そこで私はその名を
知ったのです

力も資格も持たず
ただの僥倖ぜいこうにて
輪廻りんねを外され

遙か天へと至りし
その一門……

比那名居一族



…ですから
私怨しぜんというのは本当です

自分が結局
命を捨てるまでしなければ
手に入れられなかったもの

それを何の労苦も無しに
手に入れた者がいると知って
妬み憎まずにはいられたかった

皆が私を聖人だのと
敬いましたが…

結局私ただの人間に
過ぎなかつたのです

…まあ

もう一つ
理由があるといえは
あるのですが…

そこらは布都には
ナイシヨです♪

えっ

な 何ですか
太子様

それ すっごく
気になりますぞー!!

……な……

何で私のほうが
あからさまに
キツツいのよう……

世間と霊夢は
前科持ちに
厳しいんだぜ？

今回どつちかと
言ったら被害者
なんだけど…っ!!

あー

そうそう

その^{かみいしや}太子殿から
お前さん宛ての
置き手紙が

はあ…？



■あとがき

どうもー、キューです！

ここ近年はずっとシリアスばっか描いてたんですが、
今回はその反動が爆発したかのように、やりたい放題ギャグった感じですね。
しかし、全編シリアスだとギャグが、全編ギャグだとシリアスをピリッと挟みたくなるこの感覚。

さてはて今回のネタ、意外かもしれませんが
実は構想そのものは後ろ4ページのシリアス(っぽい)部分から始まっております。
自分が前回まで描いていた「有頂天生」という
比那名居天子の過去から現在までを(独自設定で)辿ったシリーズがあったのですが、
その地子時代の設定年代(本編では書いていない)がちょうど1400年程前、だったのです。
そしてこのシリーズを描いている途中で「東方神霊廟」が発表されまして、
うわなんだこれは設定の内容的にも絶対絡むぞ絡ませたいぞー、と思い続けて早一年。

最初はもっとしっかりシリアスに描こうかと思っていたのですが、
結果としてはオマケ程度にさっと触れる程度…という大暴走なギャグパートがメインという有様に。
そんな名残もあって、今作から手にとって下さった方には最後の展開がよくわからないかもしれません。
もしそうであったら実に申し訳ない！

ともあれ、天子も神子も、幻想郷に来た後はもう深く考えることなく、
ワイワイギャーギャーおもしろおかしく楽しく過ごして欲しいもんです。
神霊廟組って、境遇のせいで生前は力を隠さないといけない立場だったわけで、
鍛えに鍛えた超人パワーを遺憾なく発揮できる幻想郷は楽しくて仕方なかったりするんじゃないでしょうか。
そして、対戦相手としてこの上なくちょうどいいのが天子あたりなのかなーとか。
天子は冒頭で「仙人なんぞ」とか口走ってますが、まあ東方ならではの皮肉会話の一環というつもりで、
実際のところは天子自身は格とかそういうのは全然気にしないイメージです。
まあ、人間でも強い奴は強いですし、そもそも天人という身分そのものを好いておりませんからね。
でも布都とは格通りの実力差がありそうなイメージなのは、5ボスと6ボスだからかしら。

ネタ的な布教者は神霊廟側は青娥にゃんにゃん、天子側はコマ外にちょこっと出てきた早苗さん。
他所の神霊廟合同にお邪魔した時の漫画でちょろっと描いたんですが、
うちの青娥にゃんは神霊廟事件以前は幻想郷外で暮らしてたイメージがあったりとか。
「神子に吹き込む一布都が絶賛(趣味嗜好が近い合う)」というルート展開は道教の時とデジャヴなのか、
自分の好きなように状況を操りつつ安全圏からニヨニヨ見守るとか汚いなさずが青娥きたない。

なお、「ウルトラテンコ」は天子が実際に巨大化しているわけではなく、
緋想の霧による巨大な虚像+要所を霊力等で実体化、という二段構え。重量感とかは多少無駄にこだわる。
通常の弾幕戦では今ひとつ生きてこない「地震を起こす」能力をとてつもなく有効に使えるので、
何気に天子にとって相当に優位な戦場を構築できたりします。ここらへん本編で全然描けませんでした。
ダブルスポイラーにおいて「勇気凛々の剣」「カナメファンネル」など、メタ方向にぶっとんだネーミングを
放ったてんこの裏に、実は早苗さんがいたとか思うと妙に納得してしまえるのは私だけでしょうか。

そんなこんなで、本のほう手に取っていただき誠にありがとうございました！
またの機会にお会いできれば幸いです！

作画资料

神楽坂廟組編

先日のオリジナルに引き続き、何故かまた口ボを描く羽目に、例によって細部は原稿を仕上げながら話めていったので、資料とは結構違うパーツもちらほら。神子様は地味に肩ケープの造形も難しいよなーと思ったんですが、よくよく考えれば天子の首周りも未だに苦労しているので、単純にパーツの精度が足りないだけか。





布都の髪は結局トーン無しになり、帽子ももうちょい後方に丸みを帯びた形状になっています。眉はやや太めですが、太さより短めという点を意識しておじゃる系のイメージを付加してやりたいというもろもろ。

それにしても私は布都が女の子だという認識があんまりできません。リグルはもちろんとして、妖夢あたりもずっとそんな感じです。特定方面から凄く怒られそうな気がする。布都はその二人と比べたら女の子と認識しやすそうな造形な気がするんですが…

屠自古と芳香は、資料は切ったもののほとんど出番無かったですね。表紙だと芳香が意外ときっちり写り込んできてたりしますが、芳香は徐々にショートボニーに見えてきたんですが、そうするとボニーという点で布都和被りそうだなという。

ともあれ青蛾にゃんにゃん。神楽廟が一番好きですが出番は少ない。留め髪の形状が特殊なせいで、右向きを描こうとすると頭がおかしくなって死にます。二次元的な嘘を吐かざるを得ない。後ろ髪のかぶらみのピークが眼の下側、というのを意識したら似せやすくなってきた感があります。



■奥付

初版 二〇一二年 五月二十七日

製作 朝までゴージャ

著者 キユー

印刷 ねこのしっぽ様

原典 東方Project (上海アリス幻楽団)

聖人君子 アムンビバレンス

朝まで
ゴージャ

天人 VS 御人

天人・比那名居 天子に
挑戦状を叩き付けたのは、
かの聖徳王・豊聡耳 神子だった——!!

しかしその決闘、少々どころか
相当常軌を逸していで……!?

仙界どこからでもドアー



…本編へ続く!!